

# 論文の書き方

- 前の注に出ていたのと同じ文献を次の注でも連続して書く場合。
- 日本人著者の場合：

# 論文の書き方

- 前の注に出ていたのと同じ文献を次の注でも連続して書く場合。
- 日本人著者の場合：
- 同書（または同論文）、頁数（頁数が異なるとき）。

# 論文の書き方

- 前の注に出ていたのと同じ文献を次の注でも連続して書く場合。
- 日本人著者の場合：
- 同書（または同論文）、頁数（頁数が異なるとき）。
- 外国人著者の場合：

# 論文の書き方

- 前の注に出ていたのと同じ文献を次の注でも連続して書く場合。
- 日本人著者の場合：
- 同書（または同論文）、頁数（頁数が異なるとき）。
- 外国人著者の場合：
- Ibid, p...（頁数が異なるとき）。

## 注の練習（2）

- ◎ クセノフォンは戦争再発に至る一連の事件の初めにティモテオスによるザキュントス人亡命者の上陸事件を記すことによって、ザキュントスへのアテーナイの干渉が平和破綻の原因になったと位置づけている<sup>52</sup>。
- ◎ 注52は注51と同じ箇所Xen. *Hell.* 6. 2. 2. を注記する。

## 注の練習（2）

- ◎ クセノフォンは戦争再発に至る一連の事件の初めにティモテオスによるザキュントス人亡命者の上陸事件を記すことによって、ザキュントスへのアテーナイの干渉が平和破綻の原因になったと位置づけている<sup>52</sup>。
- ◎ 注52は注51と同じ箇所Xen. *Hell.* 6. 2. 2. を注記する。
- ◎ 参考資料＞脚注＞番号書式＞開始番号＞52＞適用の順でクリックすると注番号は52になります。

## 注の練習（２）

- クセノフォンは戦争再発に至る一連の事件の初めにティモテオスによるザキュントス人亡命者の上陸事件を記すことによって、ザキュントスへのアテーナイの干渉が平和破綻の原因になったと位置づけている<sup>52</sup>。

52 Ibid.

# 論文の書き方

- いくつか前の注に出ていた文献を再び取り上げる場合。
- 日本人著者の場合：



# 論文の書き方

- いくつか前の注に出ていた文献を再び取り上げる場合。
- 日本人著者の場合：
- 著者の名字、前掲書、頁数。

# 論文の書き方

- ◎ いくつか前の注に出ていた文献を再び取り上げる場合。
- ◎ 日本人著者の場合：
- ◎ 著者の名字、前掲書、頁数。
- ◎ 外国人著者の場合：

# 論文の書き方

- いくつか前の注に出ていた文献を再び取り上げる場合。
- 日本人著者の場合：
- 著者の名字、前掲書、頁数。
- 外国人著者の場合：
- 著者の名字、op. cit. p.～.

## 注の練習（3）

- さらにコークウェルはスパルタがムナシッポスをケルキュラに派遣したことも戦争再発にはならないと主張する。
- 文末に6つ前の注に記載されていた文献G. L. Cawkwell, "Notes on the Peace of 375/4," *Hist.* 12, 1963, pp.84-95の86頁目を注につけなさい。注番号は18です。

## 注の練習（3）

- さらにコークウェルはスパルタがムナシッポスをケルキュラに派遣したことも戦争再発にはならないと主張する。
- 文末に6つ前の注に記載されていた文献G. L. Cawkwell, "Notes on the Peace of 375/4," *Hist.* 12, 1963, pp.84-95の86頁目を注につけなさい。注番号は18です。
- 参考資料＞脚注＞番号書式＞開始番号＞18＞適用の順でクリックすると注番号は18になります。

## 注の練習（3）

- さらにコークウェルはスパルタがムナシッポスをケルキュラに派遣したことも戦争再発にはならないと主張する<sup>18</sup>。
- 18 Cawkwell, op. cit. p.86.

# 論文の書き方

- 最後に参考文献表を付けます。

# 論文の書き方

- ◎ 最後に参考文献表を付けます。
- ◎ 日本人著者なら



# 論文の書き方

- ◎ 最後に参考文献表を付けます。
- ◎ 日本人著者なら名字のアイウエオ順に。

# 論文の書き方

- ◎ 最後に参考文献表を付けます。
- ◎ 日本人著者なら名字のアイウエオ順に。
- ◎ 外国人著者なら名字のabcd順に。

# 論文の書き方

- ◎ 最後に参考文献表を付けます。
- ◎ 日本人著者なら名字のアイウエオ順に。
- ◎ 外国人著者なら名字のabcd順に。
- ◎ 同一著者の文献は刊行年順に。

# 論文の書き方

- ◎ 最後に参考文献表を付けます。
- ◎ 日本人著者なら名字のアイウエオ順に。
- ◎ 外国人著者なら名字のabcd順に。
- ◎ 同一著者の文献は刊行年順に。
- ◎ 同一著者の名前は

# 論文の書き方

- ◎ 最後に参考文献表を付けます。
- ◎ 日本人著者なら名字のアイウエオ順に。
- ◎ 外国人著者なら名字のabcd順に。
- ◎ 同一著者の文献は刊行年順に。
- ◎ 同一著者の名前は
- ◎ 日本人なら同

# 論文の書き方

- ◎ 最後に参考文献表を付けます。
- ◎ 日本人著者なら名字のアイウエオ順に。
- ◎ 外国人著者なら名字のabcd順に。
- ◎ 同一著者の文献は刊行年順に。
- ◎ 同一著者の名前は
- ◎ 日本人なら同またはーで

# 論文の書き方

- ◎ 最後に参考文献表を付けます。
- ◎ 日本人著者なら名字のアイウエオ順に。
- ◎ 外国人著者なら名字のabcd順に。
- ◎ 同一著者の文献は刊行年順に。
- ◎ 同一著者の名前は
- ◎ 日本人なら同またはーで
- ◎ 外国人ならIdemまたはId.

# 論文の書き方

- 最後に参考文献表を付けます。
- 日本人著者なら名字のアイウエオ順に。
- 外国人著者なら名字のabcd順に。
- 同一著者の文献は刊行年順に。
- 同一著者の名前は
- 日本人なら同またはーで
- 外国人ならIdemまたはId.
- またはDo



# 論文の書き方

- 最後に参考文献表を付けます。
- 日本人著者なら名字のアイウエオ順に。
- 外国人著者なら名字のabcd順に。
- 同一著者の文献は刊行年順に。
- 同一著者の名前は
- 日本人なら同または-で
- 外国人ならIdemまたはId.
- またはDoまたは-を使います。





